

2020年2月7日

上場会社名 原田工業株式会社
 コード番号 6904 URL <https://www.harada.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部長 (氏名) 青木 隆

TEL 03-3765-4321

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	31,301	2.7	615	51.1	507	50.4	206	75.1
2019年3月期第3四半期	32,169	1.0	1,259	23.1	1,024	41.7	829	19.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 235百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 671百万円 (0.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	9.50	
2019年3月期第3四半期	38.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	33,684	13,404	39.8	616.29
2019年3月期	35,236	13,803	39.2	634.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 13,404百万円 2019年3月期 13,803百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		7.50	7.50
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	3.8	1,200	30.9	1,000	30.7	650	30.6	29.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	21,758,000 株	2019年3月期	21,758,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	7,102 株	2019年3月期	7,102 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	21,750,898 株	2019年3月期3Q	21,750,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結損益計算書関係注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では良好な雇用、堅調な個人消費により堅調に推移いたしました。欧州では堅調な個人消費を支えてきた雇用や所得環境の改善の鈍化等により減速基調が続いております。アジアにおいては、中国では所得環境の悪化を背景とした個人消費の減速により緩やかな減速が続いており、アセアン地域においては厳しい輸出環境が内需の鈍化に波及しており、総じて減速基調が続いております。

日本国内経済につきましては、個人消費の持ち直しや雇用、所得環境の改善を背景とした緩やかな回復が続いております。

当社グループの属する自動車業界におきましては、自動車の生産台数が日本、アジア、北中米、欧州全ての市場で減産となり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ減産となりました。

このような状況のもと、当社グループは今期よりコネクテッドが実現する豊かなカーライフに貢献することを目指し、「新たな成長への挑戦」を基本戦略とした4ヵ年(2019年4月～2023年3月)の中期経営計画「NEW GROWTH」を策定いたしました。中期経営計画「NEW GROWTH」では、「車載アンテナビジネスの強化」、「新しい価値づくり、新しい顧客創造」、「更なる成長の土台となる組織基盤の強化」の3つの戦略を掲げ、これまで実施してまいりましたコスト構造改革の更なる進化による一層の収益力の向上に加え、自動運転時代到来に向けたものづくりの高度化等、特に「車載アンテナビジネスの強化」に係る諸施策に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、世界の自動車生産台数の減少及び為替の影響により、313億1百万円（前年同期比2.7%減）となりました。利益面につきましては、売上原価率及び販管費率の上昇により営業利益は6億15百万円（同51.1%減）となりました。また、経常利益は営業利益額の減少等により5億7百万円（同50.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社の連結子会社である大連原田工業有限公司が中国税務当局より受けていた移転価格税制に係る調査に関し、更正決定通知を受領し、確定した2005年から2014年に係る税額が見積計上した金額を下回ったため、過年度法人税等戻入額3億32百万円を計上したこと及び2015年から2018年に係る発生の可能性が高いと予想される追徴税の負担見込額2億65百万円を過年度法人税等として計上したこと等により2億6百万円（同75.1%減）となりました。

当社といたしましては、これまで各国の税制に従い適正な納付を行ってきたと認識しております。中国税務当局からの更正については、必要な更正額の納付を行いますが、二重課税を排除するための日中租税条約の規定に基づく相互協議の申立てを今後行っていく予定です。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①日本

自動車生産台数の減少等により、外部売上高は112億88百万円（同1.5%減）、セグメント間の内部売上高は20億43百万円（同27.4%減）、営業損失は68百万円（前年同期は営業利益6億円）となりました。

②アジア

中国市場での大幅な自動車生産台数の減少や為替の影響等により、外部売上高は69億6百万円（前年同期比18.9%減）、セグメント間の内部売上高は112億71百万円（同13.0%増）、営業利益は1億64百万円（同21.4%減）となりました。

③北中米

北米市場における自動車生産台数は減少となったものの、拡販活動等により、外部売上高は98億58百万円（同6.4%増）、セグメント間の内部売上高は38百万円（同42.9%減）、営業利益は2億3百万円（同18.9%減）となりました。

④欧州

欧州市場における自動車生産台数の減少や為替の影響はあったものの、拡販活動等により、外部売上高は32億47百万円（同10.9%増）、セグメント間の内部売上高は9億69百万円（同47.0%増）、営業利益は2億51百万円（同59.3%増）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

（2）財政状態に関する説明

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は242億52百万円（前連結会計年度末269億24百万円）となり、26億72百万円減少いたしました。これは主に「現金及び預金」が20億60百万円、「原材料及び貯蔵品」が8億15百万円減少したことによるものであります。固定資産は94億31百万円（前連結会計年度末83億11百万円）となり、11億19百万円増加いたしました。これは主に「有形固定資産」が13億23百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は336億84百万円（前連結会計年度末352億36百万円）となり、15億52百万円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は185億19百万円（前連結会計年度末199億26百万円）となり、14億6百万円減少いたしました。これは主に「1年内返済予定の長期借入金」が5億円増加し、「未払法人税等」が9億90百万円、「支払手形及び買掛金」が9億37百万円減少したことによるものであります。固定負債は17億59百万円（前連結会計年度末15億6百万円）となり、2億53百万円増加いたしました。これは主に「長期借入金」が5億円減少し、「その他」に含まれる「リース債務」が7億52百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は202億79百万円（前連結会計年度末214億33百万円）となり、11億53百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は134億4百万円（前連結会計年度末138億3百万円）となり、3億98百万円減少いたしました。これは主に「為替換算調整勘定」が4億54百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,888,768	4,827,854
受取手形及び売掛金	7,962,315	7,729,981
商品及び製品	5,182,677	5,461,267
仕掛品	630,204	685,483
原材料及び貯蔵品	5,170,369	4,354,846
その他	1,113,103	1,213,654
貸倒引当金	△22,809	△20,514
流動資産合計	26,924,628	24,252,572
固定資産		
有形固定資産	5,271,153	6,594,413
無形固定資産	363,498	360,942
投資その他の資産	2,677,136	2,476,336
固定資産合計	8,311,788	9,431,691
資産合計	35,236,417	33,684,264
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,748,617	2,811,169
電子記録債務	734,288	858,641
短期借入金	11,424,233	11,385,820
1年内返済予定の長期借入金	500,000	1,000,000
未払法人税等	1,687,761	697,274
賞与引当金	340,814	269,223
役員賞与引当金	33,500	25,500
その他	1,457,572	1,472,291
流動負債合計	19,926,786	18,519,921
固定負債		
長期借入金	1,000,000	500,000
退職給付に係る負債	168,114	132,695
その他	338,247	1,126,866
固定負債合計	1,506,361	1,759,561
負債合計	21,433,148	20,279,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	10,174,863	10,218,337
自己株式	△2,346	△2,346
株主資本合計	14,051,679	14,095,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,637	16,943
為替換算調整勘定	△147,758	△602,610
退職給付に係る調整累計額	△115,290	△104,704
その他の包括利益累計額合計	△248,411	△690,372
純資産合計	13,803,268	13,404,781
負債純資産合計	35,236,417	33,684,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	32,169,607	31,301,266
売上原価	24,773,782	24,467,062
売上総利益	7,395,825	6,834,203
販売費及び一般管理費	6,136,804	6,218,426
営業利益	1,259,020	615,776
営業外収益		
受取利息	33,512	23,995
その他	89,129	90,545
営業外収益合計	122,642	114,540
営業外費用		
支払利息	145,603	195,677
その他	211,593	26,936
営業外費用合計	357,197	222,614
経常利益	1,024,465	507,703
特別利益		
固定資産売却益	137,947	3,652
特別利益合計	137,947	3,652
特別損失		
固定資産除却損	12,645	8,158
その他	1,326	1,764
特別損失合計	13,972	9,922
税金等調整前四半期純利益	1,148,440	501,432
法人税、住民税及び事業税	477,949	294,679
過年度法人税等戻入額	—	※1 △332,777
過年度法人税等	—	※2 265,050
法人税等調整額	△159,031	67,874
法人税等合計	318,918	294,826
四半期純利益	829,522	206,605
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	829,522	206,605

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	829,522	206,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,374	2,305
為替換算調整勘定	△153,860	△454,852
退職給付に係る調整額	8,060	10,586
その他の包括利益合計	△158,174	△441,961
四半期包括利益	671,348	△235,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	671,348	△235,355
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

また、過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについては、適用開始日に、使用権資産及びリース負債を認識しております。

この結果、当第3四半期連結貸借対照表は、「有形固定資産」が247,997千円、流動負債の「その他」が47,419千円、固定負債の「その他」が187,223千円増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結損益計算書関係注記)

※1 過年度法人税等戻入額

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

当社の連結子会社である大連原田工業有限公司が中国税務当局より受けていた移転価格税制に係る調査に関し、負担見込額を未払法人税等として計上しておりました。2005年から2014年に係る更正決定通知を受領したことに伴い、納付すべき税額が確定いたしました。確定した税額が2019年3月期までに見積計上した未払法人税等の金額を下回ったため、未払法人税等の一部を取崩し、過年度法人税等戻入額として計上しております。

※2 過年度法人税等

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

当社の連結子会社である大連原田工業有限公司は、2005年から2014年に係る移転価格税制に基づく更正を基礎とし、2015年から2018年における当社及び当社の連結子会社との取引に関し、発生の可能性が高いと予想される追徴税の負担見込額を過年度法人税等として計上しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	11,455,694	8,521,543	9,265,046	2,927,322	32,169,607	—	32,169,607
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,812,698	9,971,435	67,821	659,646	13,511,602	△13,511,602	—
計	14,268,393	18,492,979	9,332,868	3,586,968	45,681,210	△13,511,602	32,169,607
セグメント利益	600,069	209,206	251,192	157,854	1,218,322	40,698	1,259,020

(注) 1. セグメント利益の調整額40,698千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	11,288,907	6,906,941	9,858,354	3,247,062	31,301,266	—	31,301,266
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,043,217	11,271,032	38,727	969,991	14,322,969	△14,322,969	—
計	13,332,125	18,177,974	9,897,081	4,217,053	45,624,235	△14,322,969	31,301,266
セグメント利益又は損失(△)	△68,097	164,346	203,800	251,401	551,449	64,327	615,776

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額64,327千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。